

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

短 歌

我が仕事三月をもち打ち切りに

七年半があつといふ間に

●宮古市 太田屋滋

ロウバイがほのかに香る通学路

ランドセル色十人十色

●朝霞市 林 則雄

出番来い下駄箱の内旅なかの供

コロナ風かぜ止むを足踏みで待つ

●松戸市 秋元輝美

山茶花に目白の親子見え隠れ

声をかけあい花蜜を吸う

●狛江市 根方一吉

裏山の四本の桜見おさめに

やがて住の明かりが灯る

●稲城市 才木ミサコ

福寿草紫スミレひと花つつ

立春を前に便り一番

●羽村市 中 新一

海岸に若布を拾ふ散歩道

夫とふたり並び見る海

●明石市 小田和子

春隣など程遠く生活は

質素儉約なれどぎりぎり

●明石市 小田慶喜

連れ添いて五十周年無事祝い

今は感謝の寺まいり

●淡路市 石坂満男

俳 句

深落葉メジロ飛び立ち春が居る

●鹿沼市 大貫秀雄

梅東風うめごちに急かさるるまま帰路ひとり

●本庄市 長谷川千鶴子

葉も食べて笑われたのよ桜餅

●草加市 長谷部禎子

ひとりごと届かぬ距離の春北斗

●戸田市 篠崎志津子

唇にさしたし紅き寒椿

●東京都大田区 小池弘一

風光る就業前やシルバー旗

●東京都練馬区 山口昭義

モクレンの芽のぬくもりや冬木立

●立川市 浅見 眞

夫婦鍋四ツ目眼鏡や曇りをり

●平塚市 田中博由

お祓いは鬼滅雪滅菌滅で

●燕市 佐藤信一

初の雪細い目で見る六地藏

●塩尻市 大家協治

溪谷の音絶えてをり滝氷柱

●塩尻市 奥原光夫

正月はひっそり過ごすコロナ禍を

●塩尻市 小野正平

遠ざかる列車の響きもがりぶえ虎落笛

●塩尻市 永原良子

源流の岩に陽ざしの冬すみれ

●塩尻市 町田まこと